



久留米市健康診査・
がん検診

検診受診者の
体験動画



コロナ禍でも けんしんはいつも通り

感染対策に万全を期して実施しています

使用機器は都度消毒を行います



けんしんで自分の体を知る
けんしんには、がん検診と生活習慣病に特化した特定健康診査があります。6月から開始し、11月30日(火)まで受診できます。自覚症状がない病気の発見や自分の体の変化を知ることができるので、毎年受診することが大切です。
令和2年度の市のがん検診受診率は、全体で前年度比2%減でした。コロナ禍による外出自粛や感染の不安による受診控えなどが必要因と考えられます。受診を控えると、がんの発見を遅らせる恐れがあります。皆さんが安心して受診できるように、医療機関や集団会場では換気や消毒を行うなど感染症対策に努めています。

混雑する前に受診を
市役所など集団会場で受ける場合、電話か市ホームページから予約します。医療機関で受ける場合は、直接病院に連絡してください。受診できる項目や医療機関は、「けんしんガイドブック」や市ホームページで確認を。11月は予約が集中します。密を避けるためにも早めの受診をお勧めします。
◎健康推進課 ☎0942・30・9331、FAX 0942・30・9833

けんしんを申し込む

【集団会場で受ける】

- インターネットで予約
インターネット予約サイトはこちら→
- 電話で予約 (9:00 ~ 17:00、祝日を除く月~金)
☎0120・900・072

【医療機関で受ける】

医療機関に直接連絡を行う。
医療機関一覧はこちら→

子宮頸がん検診が変わります

令和4年度から子宮頸がん検診受診対象が、20歳以上で偶数年齢の人になります。今年度、偶数年齢の人は来年は受診できません。忘れずに受診しましょう。

子宮頸がん検診実施機関	電話番号
いづみレディースクリニック	45・2300
翁産婦人科医院	46・8181
河田産婦人科	32・2502
久留米総合病院	33・1211
新古賀クリニック健康管理センター	35・3170
聖マリアヘルスケアセンター	36・0721
田崎クリニック	33・7227
天神ウィメンズクリニック	38・0002
とみおかレディースクリニック	39・6678
深川レディースクリニック	0943・72・1122
福井レディースクリニック	39・2288
まえだ婦人科クリニック	36・6200
みやじまクリニック	51・3188
宮原クリニック	22・3011
みやはら産婦人科医院	33・3331
渡辺レディースクリニック	21・1103

学芸員が
見どころ解説



《六月の日》1912年 東京国立近代美術館
留学から帰国後、瀬戸内海を背景にそこに生きる人々を描いています。この作品では、麦刈りに精を出す人々を描きました。中央の水を飲む男の姿を「ほら貝を吹いているようだ」と夏目漱石が語ったという話もあります

没後70年 南薫造

初の大規模回顧展が久留米へ

英国で学んだ水彩画

7月3日(土)から久留米市美術館で「没後70年南薫造」が開催されます。南薫造は明治の終わりから、昭和中ごろにかけて活躍した画家です。出身地である広島県以外で展覧会が開催されるのは初めてです。南薫造は中学生の頃、教会で見た油絵に感激したのがきっかけで画家を志します。東京美術学校を卒業後、水彩画の本場イギリスへ留学。繊細な色使いの水彩画は高く評価されています。油彩画や水彩画だけでなく、創作版画運動の先駆けとされる、版画の工程を作者が全行う自画自刻(じくじく)による版画制作にも取り組みました。本展は版画22点も展示します。色使いは年々豊かさを増し、温かく鮮やかな色彩は、郷里・瀬戸内の光に育まれたものと思われれます。

画業の歩みを4章で

本展は「初期 美校時代」、「留学時代」、「帰国後の活躍」、「晩年 郷里での活動」の4章で構成。初期



《自画像》1907年 東京藝術大学

■南 薫造
(1883 ~ 1950)
広島県賀茂郡内海町(現・呉市安浦町)出身。東京美術学校で岡田三郎助に師事。文展審査員や東京美術学校教授を務める。1944年、郷里に疎開。1950年、死去

から晩年までの画業を総数201点の作品とスケッチブックや絵日記など51点の資料でたどります。
◆会期 7月3日(土)から8月29日(日)までの10時~17時。入館は16時30分まで。月曜は休館。8月9日(休)は開館します ◆入館料 一般1000円、65歳以上700円、大学生500円、高校生以下無料。前売り券600円。チケットぴあ、ローソンチケットなどで販売
◎久留米市美術館 ☎0942・39・1131、FAX 0942・39・3134